

“横芝少年野球クラブ”悲願の優勝

東総地区野球スポーツ少年団が集い、小学校6年生にとつて最後の試合となる「友和会」が開催され、「横芝少年野球クラブ」は、度重なる接戦を監督・コーチを始め選手一丸となり勝ち進み、3月1日、悲願の優勝旗を獲得しました。

キャッチボールもままならなかった子供たちが平日にも自主練習を重ね努力した成果が、最高の結果となり6年生にとつて良い思い出ができました。と、監督・コーチ・父母のみなさんが、笑顔で話してくれました。



決勝トーナメント

初戦 (延長7回)	3対2	東陽スポーツ少年団
準決勝 (延長8回)	1対0	須賀スポーツ少年団
決勝	4対3	千潮スポーツ少年団

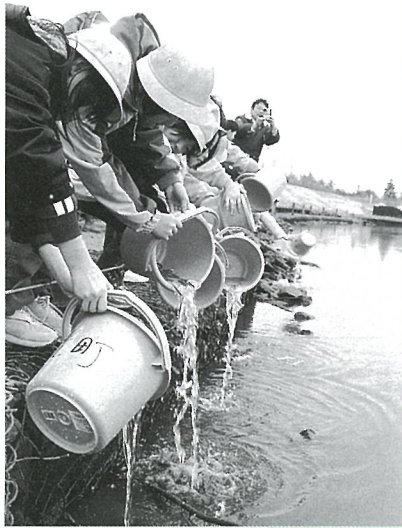
再会の願いをこめて

—サケの稚魚放流—

春の恒例行事となった、サケの稚魚放流が3月6日、光クリーンパーク脇の親水公園を会場として、行われました

今年も近隣の学校に稚魚の飼育を手伝ってもらい、21校で大切に育てられた11万6千尾のサケが、子ども達214名の手により、栗山川へ放流されました。

手に手にバケツを持ち「元気に帰って来いよ」「また会おうね」と、大声援で見送る様子は、まさに“親”その姿でした。



ふるさとの川を守るために

3月16日、栗山川シンポジウム（横芝・光町主催）が、光町民会館で開催されました。

第7回となる今回は、“ふるさとの川を守るために”をテーマとして、「身近に出来る河川浄化」と題した基調講演などが行われ、会場に集まった大勢のみなさんは、食生活が環境に及ぼす影響力が大きいことなどについての話を聞き、私たちの財産「栗山川」を次代へ引き継ぐために、今何をすべきか、考えました。

